



# 3年間の活動報告

～関係人口増加のために取り組んだこと～

西垣 翔太

# 3年間の主な活動

## 1.関係人口の増加を目的としたコンテンツ開発

「地域資源×クリエイター」プロジェクトの実施

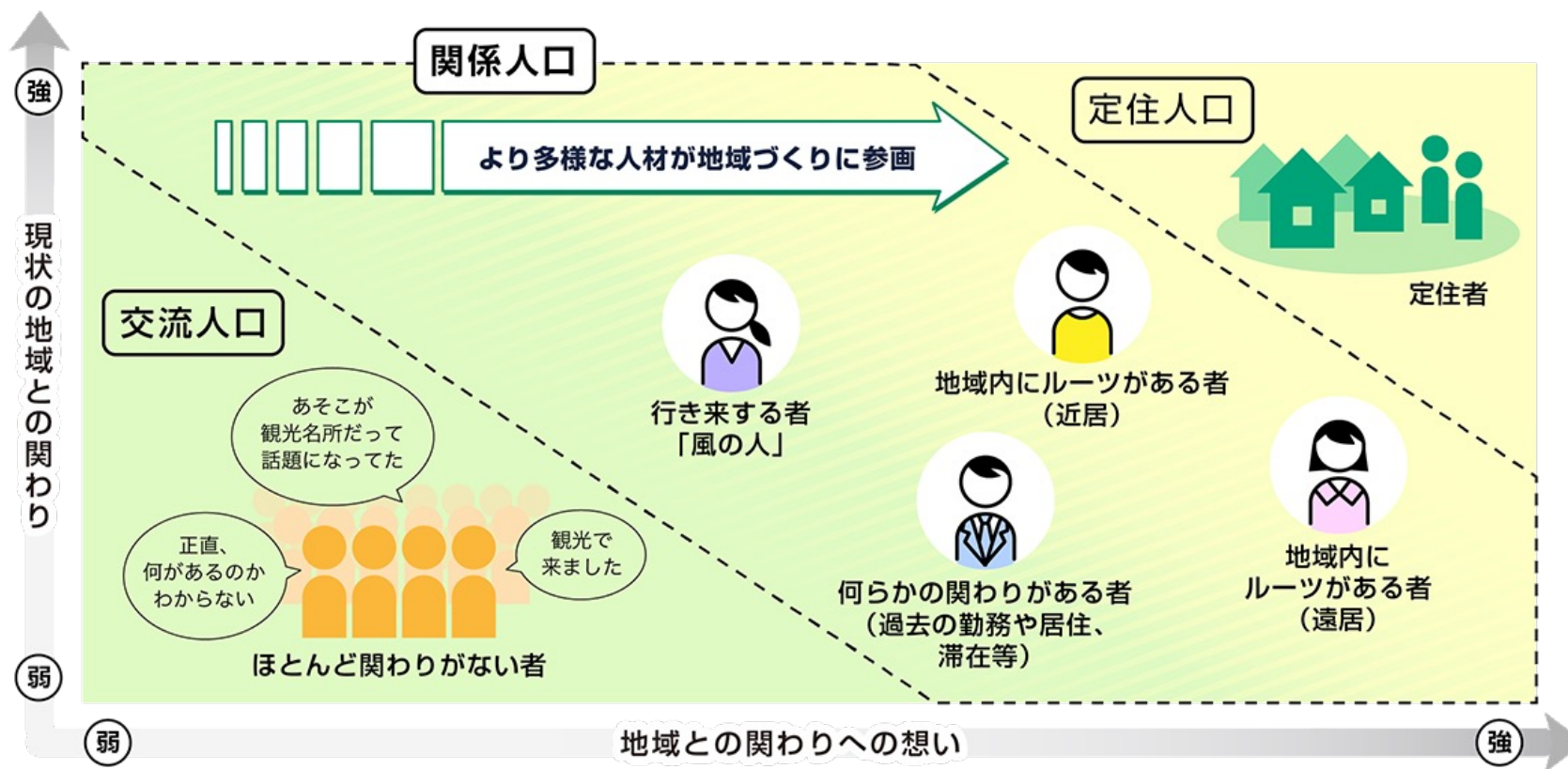
## 2.ワーケーションプログラムの開発

## 3.勝山市民及び市外から来る方々が交流するための

コミュニティづくり

# 関係人口とは

移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域と多様に関わる人々



# 関係人口の増加に取り組んだ理由

- ・ いきなり定住人口（移住者）を増やすことには課題があり、ハードルが高いため
- ・ 観光者のみでは、単発の関わりとなり、継続的な成果とはつながりにくい
- ・ 単発ではなく、中長期的に関われる人々を増やし、それが最終的には移住者が勝山に住みたいというきっかけづくりになるのではないかと考えた



勝山にかかわる①きっかけを発見し、  
多様なかかわり方を②提示/提案  
その間を③コーディネート

# 自然体験コンテンツの開発

テントサウナ、鮎釣り体験など



## 2年目のおもな活動

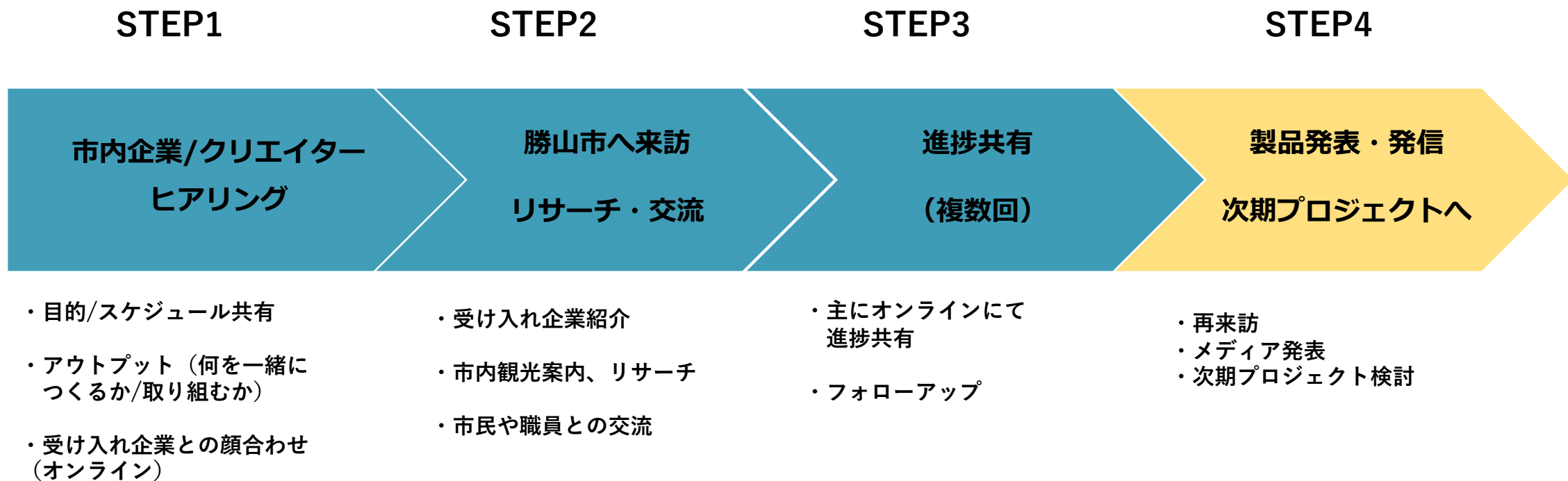
### 「地域資源×クリエイター」PJの概要

- ・クリエイターに関係人口として中長期で関わりを持つため、プロジェクト化。
- ・おもに首都圏からのクリエイターと商品・サービスを共創。デザイナー（グラフィック、AR、キャラクター）、陶芸家、インスタグラマーやYou tuberなど様々なジャンルから8組
- ・地域資源は「繊維産業」と「恐竜」に絞り込み

## 「地域資源×クリエイター」のメリット

- ・クリエイターはアウトプットが明確にあり、関係人口としてかかわりやすい。さらに、発信力が高い人も多い
- ・まちの地域資源が核となり、まちのらしさ、強みを発見。それを内外で磨いていくプロセスでまちの付加価値を生むサイクルへ
- ・繊維産業はまちの主要産業であり、ここが先進的でクリエイティブな価値をつくることできれば、新たなエンジンとなる可能性が高い

## 「地域資源×クリエイター」基本プロセス





# イメージ

勝山市  
コミュニティ

助成金、  
協働支援等



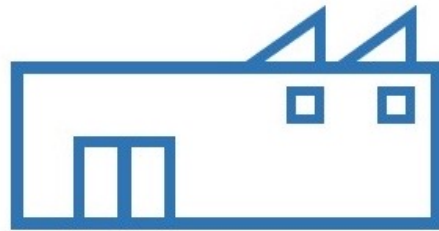
行政



まちづくり会社

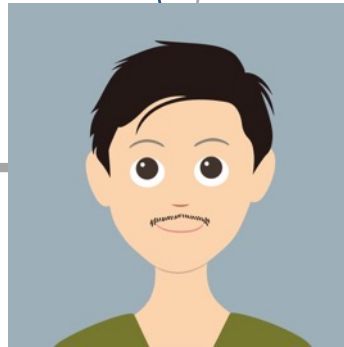


観光、場作り  
分野のプロジェクト



繊維会社

アパレル、端材活用  
プロジェクト



クリエイター  
ネットワーク



クリエイター



クリエイター



## セスク・グラネ

スペインバルセロナ出身。3Dキャラクター  
専門デザイナー、イラストレーター。

日本ではコンタクトレンズ「レニュー」の  
レンズ菌の全キャラクターデザインを担当。





# Asuka Watanabe (代表作：フジロックのメインビジュアル)



SMASH go round

# FUJI ROCK FESTIVAL '21

AUG 20-22 NAEBA SKI RESORT

AUG 20 FRI  
**RADWIMPS**  
MAN WITH A MISSION millennium parade  
METAFIVE (TOWA YEE × 山田由希 × 杉原悠希 × 坂本慎太郎) 坂本慎太郎  
SiM SUMMIT (PUNPEE GAPPER OMSB MARIA SIMI LAB DyPRIDE)  
THE BAWDIES ドレスコーズ H ZETTRIO Kan Sano  
KID FRESINO (BAND SET) LITTLE CREATURES 前野健太  
OKAMOTO'S くるり 5lack Tempalay TENDOUJI  
手嶋葵 Vaundy YOGEE NEW WAVES yonige  
スピノフ四人囃子 feat. 根本 要 & 西山 毅 KOTORI (ROOKIE A GO-GO '19)

AUG 21 SAT  
**King Gnu**  
CORNELIUS NUMBER GIRL  
The Birthday indigo la End ROVO  
AJICO Char Dachambo DENIMS envy カネコアヤノ KEMURI  
Mega Shinnosuke milet 光風 & GREEN MASSIVE MONO EYES  
ReN サンボマスター SIRUP THE SKA FLAMES THE SPELLBOUND  
サニーデイ・サービス tricot THE ALEXX 草田一駿 (selected by ROOKIE A GO-GO '20)

AUG 22 SUN  
**電気グルーヴ**  
平沢進+会人(EJIN)  
忌野清志郎 Rock'n'Roll FOREVER  
with ROUTE 17 Rock'n'Roll ORCHESTRA feat. 仲井戸 "CHABO" 麗市  
GUEST: UA エセタイムズ 奥田民生 GLIM SPANKY 甲本ヒロト チバウスケ  
Char トーキョー・タナカ/ジャンケン・ジョニー トースタ松本 YONCE

**CHAI OAU**  
秋山黄色 青葉市子 4s4ki Awesome City Club BEGIN  
THA BLUE HERB カルメン・マキ&OZ cero GEZAN  
秦基博 羊文学 君島大空 合奏形態 民謡クルセイダース  
MONO NO AWARE 折坂悠太(重奏) STUTS (Band Set: 柳本亮彦, 萩原謙吾)  
TENDRE 上原ひろみ ザ・ピアノ・クインテット yonawo

and MANY more artists to be announced





Kenichiro Takamatsu

インスタ向け恐竜ARフィルター（インスタにて勝山DMOで検索）



（第3種郵便物認可）

# インスタで恐竜に変身

若者、家族に勝山アピール 市まちづくり会社

「恐竜のまじ」として、勝山市をPRしようと、市観光まちづくり会社は写真共有アプリ「インスタグラム」の公認アカウントに、スマホの画面のなり物をかかった姿が表示される拡張現実（AR）機能を活用した。20日から利用が可能となり、同社は「若者やファミリー層へのアピールにつながる。勝山へ来てもらえようになれば」としている。（穂高 友希）

## アカウントにAR機能

元々、AR自が大きな役割を担っており、インスタグラムには「Din」という機能があり、それを応用した。搭載した機能は「Din」と命名。恐竜は、勝山で化石が見つかった新種の肉食恐竜「フクイラトル」をモチーフにした。ラトルの姿にならなくても、写っている人が口を開けると画面のラトルも口を開き、その中に本当の顔が浮かび去る仕掛けになっている。

画面をタッチするとかぶり物の姿が出現する。通常の恐竜じいものや、ハート形の模様があるものまで4種類ある。11月末まではハロウィン仕様でカボチャなどの模様も公開している。

同社でネジターの今井三雄さんが開発統括を務める中で、アートチームに活動する市地産おし協力隊員の四里雅太さんと相談。四里さんが新しい取り組みで流行する可能性が

ある」と、映像制作AR機能を用いた作品づくりを担っている高松一朗さん。東京在住の紹介。高松さんが中心となって制作を進めていた。

公開に当たり、同社勝山市本町子自の花月楼で報道関係向けの発表会を開催した。高松さんは「恐竜は面白いし、コンテンツとして力がある」と出陣を誓った。今井さんは「同社と同じDMO（観光地づくり推進法人）の協力の取り組みを行っているのは国内初」とし、「全国製造サイト上で影響力のあるインフルエンサーへのPRも行いたい。別の発表会も検討したい」と意気込んだ。

市まちづくり会社のウェブサイト「travelkatsuyama」で検索。

人の顔にかざすと、恐竜のかぶり物をした姿が出てくる機能をPRする今井さん（左）と高松さん＝20日、勝山市の花月楼

g KEYAKIZAKA (六本木ヒルズ内のギフトショップ)  
101種類の端材を活用した風呂敷



Hangover plate 端材を活用したキッチンアパレル・グッズ







# 勝山ワーケーション滞在プラン

## 滞在期間

3~6日

## 宿泊場所

- ・おちやのみみつけ
- ・勝山ニューホテル

## 観光

- ・恐竜博物館（年中）
- ・越前大仏（年中）
- ・はたやゆめおーれ（一年中）
- ・平泉寺白山神社（春～秋）
- ・スキージャンプ（冬）

## 滞在アクティビティ

- ・テントサウナ
- ・鮎釣り
- ・繊維企業周遊ツアー（株式会社ラコーム、有限会社多田製紐）
- ・オリジナルTシャツづくり（The Each Base）
- ・ハーブガーデン（空のテラス）

## ヒアリング

- ・勝山市役所
- ・勝山市観光まちづくり会社

ワーケーション2020  
(3泊4日)

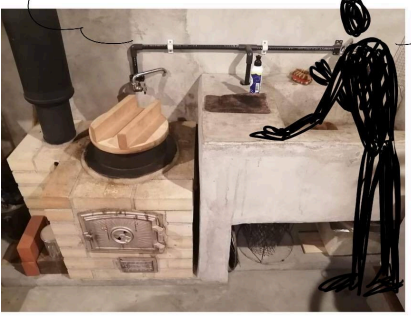




初めて勝山を訪ね、驚いたり、感じた体験等を主観をまとめたこと。1人あたりの消費量も異様に多くて、カルチャーショック。  
**秋吉への食い意地**  
 遠慮のない食べっぷり！  
 1人あたりの消費量も異様に多くて、カルチャーショック。  
 2021.11.13-17



**みつけの建物と体験**  
 手仕事のぬめりも随所に感じる空間。人が工夫したり、協力し合うことに重きを置いた暮らしのデザインが驚異的であらう... 一つの向に自然体にいる自分に驚きました。



**勝山の気取らない魅力について。**  
 いい!と感じたまちのおさをシェアします!!  
 無邪気に... 身のりま...  
 感情表現が素直な人たちが多い! 周囲の目気にせず、ありのままの素顔に沢山出会いました。

**人柄**  
 感情表現が素直な人たちが多い! 周囲の目気にせず、ありのままの素顔に沢山出会いました。

**関係性**  
 内の人、外の人、境界線を引かず、気持ちよく出入りしてもらいました。謙遜して相手を立てるようなコミュニケーションも、フラットな心地よさがあります。

**次、行きたさ**  
 走り前がニ、及びの楽を...  
 馬チカのカフェで作り、モラリ体験  
 友だちとみつけに再遊  
 まちのみまほ  
 勝山特有の文化、くらしを体験したい

**食への**  
 分物はシンプル。  
 そば・ライスが丼以上。

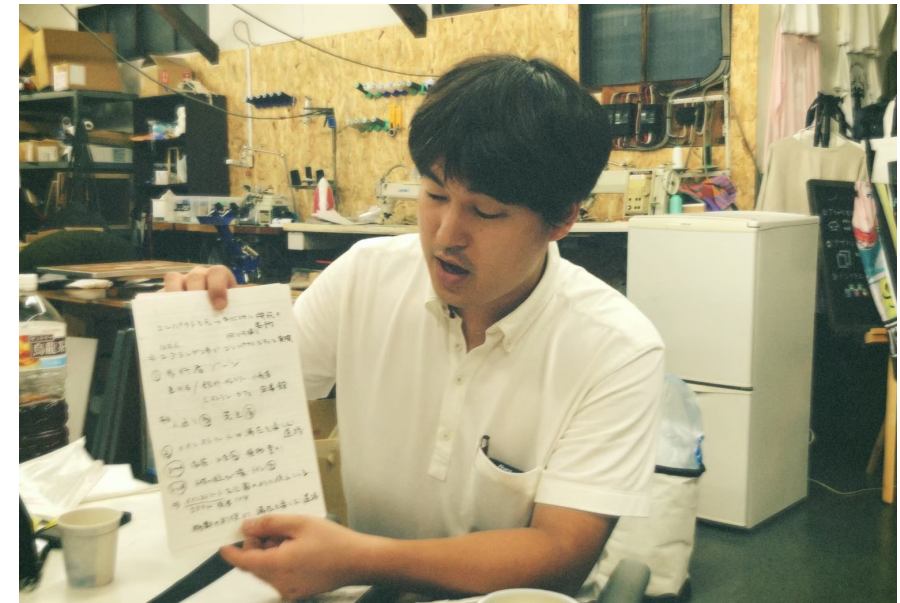
この大仏は、お宝もたくさんある。宗教はあっても、うけなま。  
 あつちのつね。  
 コミュニティバス  
 2つの口は、地元のお客が通るのフクリ、たれだ!

おしゃべりを好むので、新橋は魚がたまる居酒屋が好きなタイプ。  
 1個人事業主の、ガラスのクリティシオンを実施  
 ギロンの促進のために、リアルタイムで可視化



## 3年目のおもな活動 学びの場を通じたコミュニティづくり

- 「ABD読書会」  
まちづくりや地域活性化についての本を通して学び合う
- 「まちのデザインスクール」  
クリエイティブ=デザインの専門家のみしかできないというマインドを変え、市民と外の人が学びを通してかかわる場づくり



# まちのデザインスクール2021/2022

## まちのデザインスクール

- vol.1 小さくはじめるコミュニティデザイン&PR-  
スクール

①11/16 (Tue) 18:00-20:00  
②11/22 (Mon) 18:00-20:00  
@花月楼・各回1000円



お申し込みはコチラから！

一般的に、デザインと聞くと、  
きれいなものを作る、おしゃれなものを作るなど、  
デザイナーだけの特別なスキルだと思われることがありますが、  
広義には、問題の本質を掘り下げ、解決のための設計を行うという意味があります。  
本スクールでは、この考え方を活かし、  
まちづくりやビジネスにも使えるデザインの思考法について学んでいきます。

### 01 コミュニティをつくるデザイン

～東伊豆の小さなシェアキッチンがまちをどのように変えたのか～

講師：守屋 真一氏



### 02 お金をかけずにあなたのアイデアを世の中に伝えて認知を獲得しよう！

～PRの基礎と発信コンテンツを企画する方法～ 講師：木村 真奈美氏

第一回目のスクールでは、コミュニティデザインとPRのプロとして活躍している講師を招き、  
参加者とインタラクティブ（双方向）に学びます。



### まちのデザインスクール

一般的にデザインって、  
きれいなものや、おしゃれなものを作ることなど、  
デザイナーだけの特別なスキルだと思われがちですが、  
広義には、「問題の本質を掘り下げ、解決のための設計を行う」という意味があったりします。  
まちのデザインスクールでは、この考え方を活かし、  
まちづくりだけでなく、ビジネスにも使えるデザインの  
思考法について学んでいきます。  
WEEK1-3まで計8名の講師が登場予定

参加費：各回1000円  
場所：花月楼（1階）  
住所：福井県勝山市本町2丁目6-21

# DESIGN SCHOOL 2022

WEEK-01 世の中や海外のトレンドを知る  
11/27, 28, 29 18:00-20:00

WEEK-03 アクションを起こすロールモデルから学ぶ  
23年1月中旬予定

WEEK-02 マインドセット・思考法を学ぶ  
12/17, 18 15:00-17:00

お申し込みはコチラ



※この取組は、勝山市が取り組む地方創生事業の一環として実施されています。  
※勝山市以外の方へも参加可能ですが、定員となった場合は、勝山市の方が優先されます。  
※問い合わせ先勝山市観光まちづくり株式会社(〒911-0804 福井県勝山市元町1丁目18番19号)  
Tel. 0779-87-1245 メール: info@katsuyama-navi.jp  
QRコード、またはURLよりお申し込みください。 https://forms.gle/uzqQrBYuQHHePp2E8r



### WEEK-01 世の中や海外のトレンドを知る

11/27 : COFFEE x D2C  
コーヒー×D2C

講師：門川 雄輔 (COVOTE coffee)



テーマ  
中間業者をなくし、海外の生産者から直接おしさを届ける  
京都発D2Cコーヒーブランドの取り組み(試飲つき)  
京都産業大学法学部卒業、2018年JICAの2次派遣マーケティング職員として、  
エルサルバドル、チャラテナンゴのコーヒー農園で活動し、高品質なコーヒーの  
認知・販路拡大を目指す。  
現在は「COVOTE」というブランドを立ち上げ、エルサルバドルのコーヒーを  
直接販売し、京都での販売・販売を行い、生産地支援に取り組んでいる。



11/28 : SUSTAINABILITY x BUSINESS  
サステナブル×ビジネス

講師：藤原 ネマニ 蓮美 (ファブリック株式会社)

テーマ  
中小企業がサステナビリティをビジネスに活用するために必要な3つのこと

1993年生まれ、早稲田大学卒業後、スイスで服飾専門学校へ入学。  
卒業後は、Contents Directorとして大分県豊後高田市の一次産業支援プロジェクトに参画。  
現在は、デザインコンサルティングファームのFabricに企業や組織の持続可能な発展のための  
ブランディングを行う。



講師：中田 樹 (豊岡市地域おこし協力隊)

テーマ  
地域の素材でつくるクラフトグラノーラと盛り売りのお店づくり

1995年生まれ、京都外国語大学卒、フランスのリールカトリック大学院卒。  
食生活と消費行動の関係性について学び、現在兵庫豊岡市で地方における  
サステナビリティの課題に向けて活動中。  
「ありのまま、個性を大切に」のコンセプトについてもフィールドワークを通して探究中。



11/29 : BUSINESSE x CREATIVE x SOCIAL CONTRIBUTIONS  
ビジネス×クリエイティブ×社会貢献

講師：久保田 啓介 (世界一周大学)

テーマ  
アメリカ発SDGsゲームで体感する「ビジネス×クリエイティブ×社会貢献」を結びつける思考法とは？

1986年生まれ、関西学院大学商学部卒、大学生時代に国際交流を始めたことから国際協力の道を目指すも、  
その後より社会に貢献できるソーシャルビジネスに傾倒するようになる。  
現在は主に小学生や大学生向けの教育事業に携わっている。



### WEEK-02 マインドセット・思考法を学ぶ

12/17 : YOUTH x LOCAL COMMUNITY  
若者×地域

講師：行元 沙弥 (認定NPO法人グローバル人材開発センター代表理事)

テーマ  
若者とワクワク学び合える地域をつくるために必要な5つの仕掛け

1998年生、2013年グローバルセンター設立に携わり、2020年6月より現職。  
教育システムのアップデートと人材育成を通じて若者と社会の接点のあり方を変えることで、  
社会課題にアプローチし、解決を目指す。  
地域と世界を往還する学びと実践と交流の場づくりを京都をベースに全国・アジアへと展開している。



12/18 : LOCAL INDUSTRY x PROJECTS  
地域×おもしろ企画

講師：石尾 怜子 (株式会社スカイアップル)

テーマ  
地域特産品で自立したいときにどうやって企画をつくったか

1979年 青森県生まれ、スタートアップ企業でPRを担当、「世界一周292,929円弁当」や  
「青森が誇るブランド米「青天の霹靂」とおかしを合わせた100種100升のお弁当」の企画などに  
携わる。2019年より独立し、地域特産品の日本一高い品質を誇る年1回だけの「高級米」の  
企画・企画、公式SNSパートナー、企業やプロジェクトのPR戦略や体制づくりに取り組む。



### WEEK-03 アクションを起こすロールモデルから学ぶ COMING SOON (23年1月中旬予定)



お申し込みはコチラ

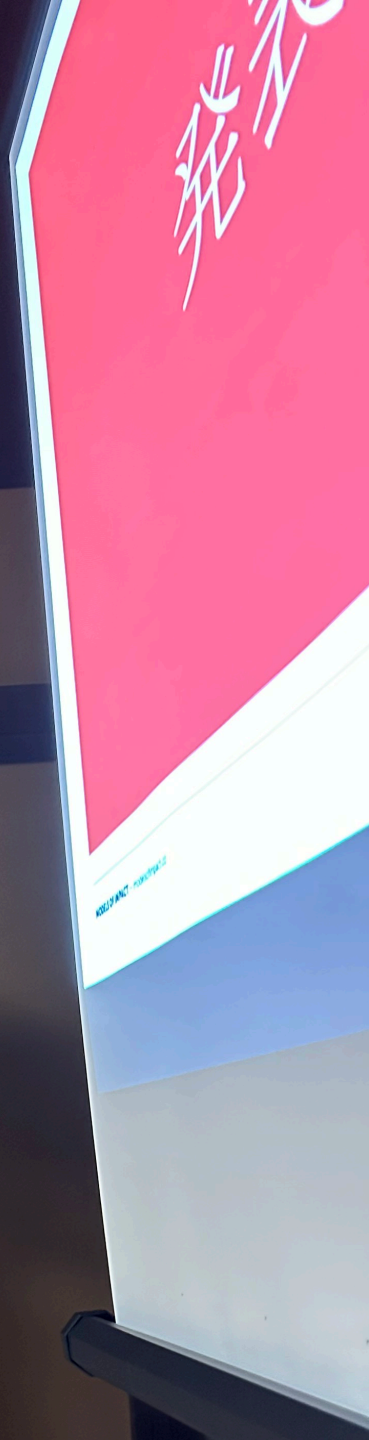
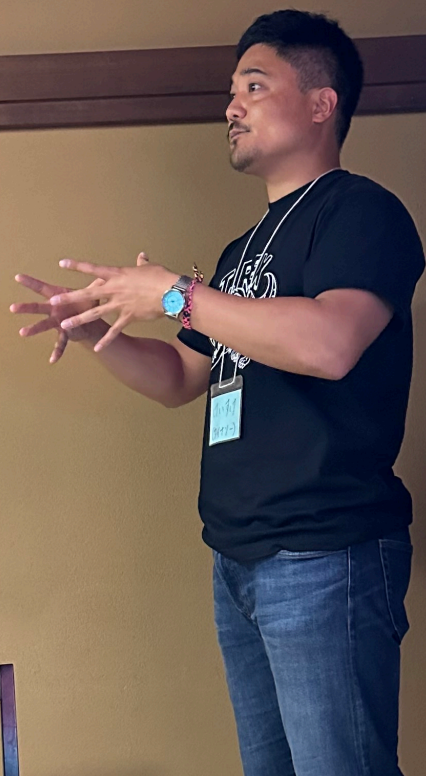
※この取組は、勝山市が取り組む地方創生事業の一環として実施されています。勝山市以外の方へも参加可能ですが、定員となった場合は、勝山市の方が優先されます。  
※問い合わせ先勝山市観光まちづくり株式会社(〒911-0804 福井県勝山市元町1丁目18番19号)  
Tel. 0779-87-1245 メール: info@katsuyama-navi.jp  
QRコード、またはURLよりお申し込みください。 https://forms.gle/uzqQrBYuQHHePp2E8r



まちのデザインスクール2021  
開催風景



# まちのデザインスクール2022 開催風景







市内の空き家視察と活用方法を考えるワークショップ



# 3年間のハイライト

関係人口構築のため、約3年間でのべ73名を市外から受け入れ

- ・ デザイナー、メディア・PR関係者、アパレル経営、インスタグラマーなど様々な職種の人々。東京、大阪、名古屋、福岡など都市圏が中心
- ・ アメリカ、カナダ、スペイン出身者など様々な地域から
- ・ そのうち、2組が勝山への移住を希望（1組は事情により辞退）

市内で開催した「まちのデザインスクール」は、  
2年間で9回開催。のべ**127**名が学びの場に参加

# 今後の展望

- ・ 空き家の利活用

まちのデザインスクールにて行った空き家活用ワークショップがきっかけとなり、複数の空き家を視察。

建築などとの専門家とともに、空き家の利活用を考えたい

- ・ 持続可能な事業の模索

場づくりとともに、カフェの運営などを検討

ありがとうございました  
西垣 翔太